

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒252-0321 神奈川県
相模原市南区相模台1-23-9
Tel.&Fax.
042-748-8240
<http://www.jouhan.com>
E-mail:info@iki2life.com

12月例会ご案内

日時 : 12月10日 木曜日
18:30 ~ 21:00
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
テーマ : 経営と脳力開発
演者 : 羽田 和弘

経営 : 変化すること 時流適応、永続的發展
現状打破

マネジメント : やると決めたことを本気で取
り組む 決意

経営課題 : 変化する姿

例 ; 赤字脱却して利益創出

経営目標 : 具体的数値化 スタッフも理
解できるようにみえる化

計画 : 優先順位 スタッフ個々の目標設定
面談 時給への反映

実行 : 一口サイズで一個づつ

明確な理念 事業発展の原則

①社員重視

②顧客本位

③独自能力

④社会との調和

戦略を決める

進む方向は明確に打ち出す。それに乗るか、

反るかは、社員に任せる

社員に流されてはいけない。

情勢判断力 : 社員の心の掌握

スタッフ間で起こっている人間関係の本質

退職を読めるか

そして世界の動き、日本の動き

《私の失敗》

失敗 : 60歳を迎えて、会社を5年後、

10年後 どうなるのか、を示せない。

自分でもどうしたら良いかわからない。

スタッフの不安、退職、

会話できない社長

いつのまにか本気が欠けてしまっていた。

夜も寝られない。どうしよう。

☞ もう一度もとに戻ってやり直し。

楽しい人生を作るために。

今まで人任せだったところがあるので、
自分で行動。

①5年後の姿を提示 ゴールを決めること
スタッフの不安を取り除く スタッフとの会
話、面談

人材 採用、配置、教育、処遇 ゴールに向
かって必要な人材を価値前提で確保
(零細企業はまず 賃金 ですね。)

ただし一人当たりの労働生産性を上げる
プロフェッショナルとして本気をつくる会話
術 コーチング

やるべきことを1つ1つやる 本気でやる。

成功 : やるときすることで脳が身体を動かして
くれるような感覚

長野で情勢判断会をやる 旧友に電話をす
ることから

そしたらその旧友から電話があった。

その時に、情勢判断会、脳力開発の勉強会
を始めたい旨えを伝えた。

その彼は、20歳くらいのときに城野先生
にもお会いして、そして勉強した経験が
あった。

戦略をもって、自分ができること、口と手
と足を動かすことで

周囲が動いて、戦略目標に一步近づいてい
く。

情勢判断、脳力開発との出会い マネジメ
ントを勉強している途中、紹介された。

途中、PHP ビジネスコーチングから PHP
チームコーチングまで終了 さらに

NLP プラクティショナーを学び、終了。
コミュニケーションスキルを学ぶも、会社

で活かせず、妻からダメだしの連続。
他人をリードするスキルと自分がイキイキ

と生きるすべの脳力開発
少しづつ勉強するにつれ、まるで楼蘭のよ

うに砂に埋もれていくように感じ
この日本発の素晴らしいスキルをもっと勉

強したく、そして伝えていきたいと
思っています。

10月例会報告

日時 : 10月8日 木曜日
18:30 ~ 21:00
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
テーマ : 「状況判断の行動学」第3章から学ぶ Part1
演者 : 松本 友

今回から新たに、「城野先生の書籍から学ぶ」というシリーズをスタートしました。城野先生の書籍を参加者の皆で読みながら、先生の言葉から学び、それについて司会進行役の立場からの考え・意見や参加者同士での意見を出し合いながら進めていくという方法です。書籍から半分・参加者から半分学ぶことができるという方式を取りました。

初回は「状況判断の行動学」から第3章「戦略決定-脳を動かす中心と方向の決定」を選びました。そして、戦略とは何か、というところを読み始めました。

たった12行進めたところで「戦略というのは「打撃の方向」であって、どこをやっつけるか、やっつけないかを決定することである」「2つのうち1つを選ぶことである」というような文章から討論が始まり、それだけで1時間を経過してしまうほどの白熱ぶりでした。

司会役の自分は例として、戦略という言葉は戦争用語であって現代に訳すと「目標や目的」という言葉に置き換えられるのではないかと話しました。

例えば「大阪に行くという目的」があるとしてAさんは新幹線で行く。Bさんは飛行機で行く。Cさんは歩いて行くとしても目的地が共通していれば最終的に全員が辿り着くが、戦略(目的)が異なっているのでは戦術(手段)が同じでも到達地がバラバラになってしまう、という考えです。

すると、そこで「大阪に行くという目的」は戦略ではなく戦術でしかない！という意見が出てそこでまた討論が再開。。。という感じで

非常に皆さんの議論が盛り上がり結果的に色々と勉強になりました。

また、城野さんの言葉で「前に進めということは、同時に、どこで止まるかということなのである」と出てきました。非常に深い意味というか考えさせられる一文です。

車で言うとアクセルとブレーキ、原子力発電で言えば原発稼働と停止、つまり便利さと安全さ、ということに置き換えた場合に、どちらが根本的にあるべきなのかという議論もできました。

これに関係するところで言うと、「2つを同時に行うことはできぬような行動の方向の決定を、戦略決定と言う」という文章がありました。ということはあくまでも根本的には安全であることがあるからこそアクセルを踏めるわけで、原発も安全だということが前提で稼働して便利な世の中になっていくということなのではないでしょうか。安全で便利という戦略は確定しているけれど、戦術としてのアクセル、戦術としての原発稼働は難行することもある。時間をかければ必ず、妥協点に到達するし、解決がつかないと騒ぐときはたいいてい、戦略と戦術の分離ができなくてごたつくのだ、という一文も実感として学びの大きいものでした。

活発な議論を交えることができ、初回は(一)戦略決定-脳を動かす中心と方向の決定のみで終了しました。

戦術とはなにか・戦略と戦術との違いという城野さんの書籍内容からも色々と考えさせられ、学ぶことができ 脳みその活発化としてはとてもよい時間となりました。

